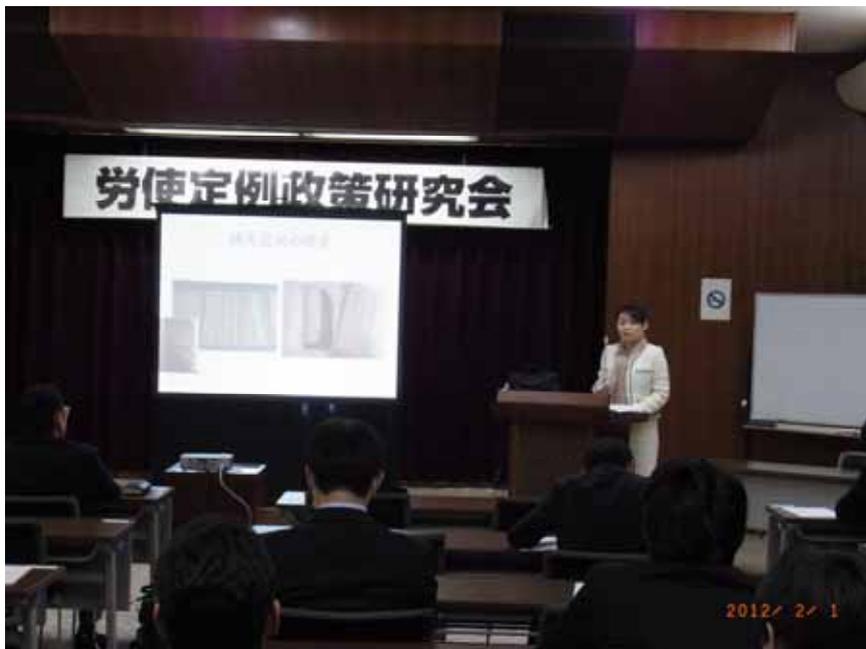




一東北生産性本部一

* 名称を news 絆に決定。大震災を忘れず、会員との絆、地域との絆、右肩上がりに思いを込めて。

労使研究会第三回例会開催



< 保存されている鎌の先を紹介しながら講演する第二十代目女将 >

2月1日(水)14時半より、東北電労会館に於いて、45名の参加を得て、平成23年度労使政策研究会の第三回例会が開催された。

今回の例会は、テーマが顧客満足であり、600年前に鎌の先で発見されたという鎌先温泉の老舗旅館である湯主一條の第20代目女将・一條千賀子さんを招いての例会であった。2003年に第20代目を継ぎ、当主・一條達也さんと二人三脚で古き良き伝統を守りながらも、常に顧客満足のサービスに徹し、従業員の意識改革を図りながら、全国の中でもトップクラスの集客を誇っている。3・11の大震災においても、風評被害等不安が募る中で、敢えて42日間休業をし、湯主一條のブランドを大切にしたい結果が、今、大きく花開いている。参加者アンケートからは、『大改革を成し遂げる際のリスク管理と決断力、利益よりも顧客満足を従業員の皆さん全員が理解していること、利益よりも次世代に継承することが、大事であると公言できる経営者としての責任と実行力に感銘した』等、9割を超える人が満足する例会となった。

2月の事業予定

1. 労働局委託事業

ものづくり企業説明会

- ・と き 2月8日(水) 13時半～16時半
- ・ところ 江陽グランドホテル 022-265-2252
- ・対 象 ものづくり技能系スキルを持った方
- ・内 容 個別ブース形式による企業説明会(無料)
電話相談ホットライン
- ・対象者 非正規労働者
- ・相談者 キャリアコンサルタントおよび社会保険労務士
- ・期 間 2月中の水曜日(16時～19時)、土曜日・日曜日(11時～14時)
- ・番号 0800-800-0461(通話料無料)

2. 管理者対象一般セミナー

- ・と き 2月17日(金) 13時半から16時半(3時間集中)
- ・ところ 仙台商工会議所会館
- ・テーマ 『会社が求める稼ぐ幹部の仕事の急所』
- ・講 師 経営効率研究所 代表取締役 山口博康 氏
- ・参加費 会員18,000円、一般20,000円

第一義 ~寒々する日本、様々な春が待ち遠しい~

二十四節気の大寒、正に寒さが最も厳しい時期、東北の日本海側や北信越は大雪である。昨年の暮れカマキリの巣が高いところにある、アブラムシが大量発生した、との話を思い出す。やっぱり自然の摂理は侮れない。原子力発電所が次々に定期点検に入り、54基中51基が停止した。4月下旬には全てが停止する見通し。イラク核開発問題が緊迫しており、原油の禁輸措置に止まらず、ホルムズ海峡封鎖となれば、中東に依存する日本のエネルギーの影響は甚大である。2011年の貿易は31年振りに赤字となった。円高や震災の影響を受けてというが、このまま続けば、企業の海外移転は加速し、雇用も失われる。日本の新たな強みが求められる。2012春闘も始まった。大きな争点としての非正規労働者を巡る課題は多いが、労使間では限界がある。規制緩和の下、雇用の弾力化は光と影が発生した。今は規制強化が必要であり、根本的な対策は法改正である。何となく寒々する世の中である。大寒の次は立春。その次の次は啓蟄である。様々な春が待ち遠しい。(記S・S)